

# 成田の舞台裏

普段何げなく利用している施設やサービスの裏側では、どのようなことが行われているか知っていますか。ここでは、普段は見るできない成田のさまざまな舞台裏を紹介します。

## 第1回 消防署 ～1秒でも早く駆け付けるために～

119番通報があったときなどに真っ先に現場へ駆け付ける消防士。今回は火災や救急の現場ではなく、もう一つの仕事場である消防署内での仕事を紹介します。

成田の消防士の出勤時間は午前8時30分。各消防署では2つのグループに分かれて24時間勤務を交代制で行っていて、次の日の午前8時30分まで勤務したら、その日が1日非番になるといった勤務形態です。

日中の出勤以外の時間は、報告書の作成や届け出書類の受け付けといった事務作業のほか、車両に積んでいる資機材の点検などを行っています。また、グループの中でも消防隊・救急隊などに分かれているので、放水訓練や救命処置訓練といった現場を想定した訓練を隊ごとに行っています。

24時間勤務となると、気になるのは食事の取り方。成田の消防士の食事時間は午前7時、正午、午後5時と決まっています。「昼ご飯は麺類」という伝統があります。消防署内に食堂があり、グループ内の若手が全てのメニューを考え、調理を担当します。そのため、包丁を持ったことがない隊員も料理の腕が自然と上がってきます。

午後11時から午前6時は休憩・仮眠時間。1時間ずつ交代で電話当番を行いながら、トレーニング室で体を鍛えたり、仮眠室で体を休めたりしています。しかし、通報があったときに1秒でも早く出勤できるよう、仮眠をとる場合も制服は着たまま。シャワーを浴びているときに通報があれば、ぬれた髪のまま出勤することも。待機時間であっても気を抜くことなくいつでも出勤できるようにしています。

消防士は消防署内でも自身の技術を磨き、皆さんの生活の安全・安心のために備えています。



①



②



③

- ① 救急車内の薬品を確認
- ② 手慣れた包丁さばき
- ③ 仮眠中もすぐに出動

### 舞台裏の様子をYouTubeでも

右のQRコードから成田市公式YouTubeチャンネルにアクセスして、スマートフォンやタブレットなどから、取材の際に撮影した動画やスライドショーを見ることができます。



成田市公式  
YouTubeチャンネル



## 命を救う現場の一員に

三里塚消防署 玉置 真由さん

就職してから最初の2年間は消防隊員として経験を積み、3年目から救急救命士として働いています。重症度の高い人を病院へ搬送し、後日、救助した人からお礼の手紙をもらっ

たときなどは頑張った良かったと思えます。たくさんの人が関わって命が救われている現場で、その一員となっていることを実感できるのが消防士のやりがいだと感じます。

### 編集後記

春は変化の季節。身の回りの環境が変わると、毎日が慌ただしく過ぎていきますね。変化といえば、裏表紙の連載企画も今回から新しくなりました。「成田の舞台裏」と題して、さまざまな施設やサービスの普段は見られない部分を紹介していきます。皆さんが気になっているあんなことやこんなことが分かるかも。私たちが取材して初めて知ることがたくさんありました。消防士が作るご飯、食べてみたいですね。次回以降も気になる舞台裏を紹介していくので楽しみに！

令和4年4月15日号 No.1457

成田市のホームページ

<https://www.city.narita.chiba.jp>

\*QRコードは簡デンソーウェブの登録商標です

\*本紙は4月7日時点の情報を掲載しています。最新情報は各ページの問い合わせ先や市ホームページで確認してください



リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報なりたは、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙、誰にでも読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています。